

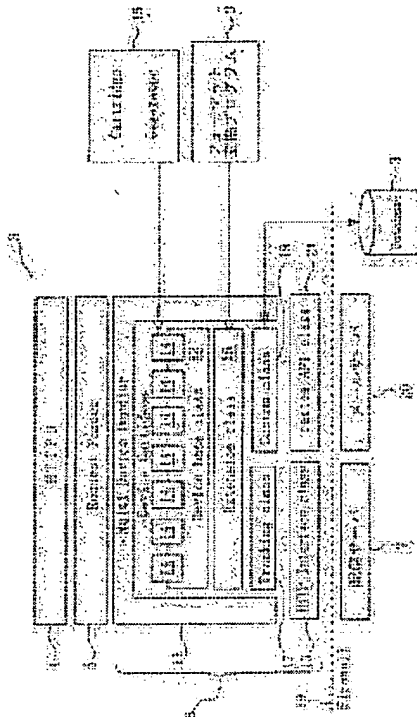
**Publication date:** 2002-01-11

**Applicant(s):** YAMAKAWA KIMIMASA; HIRAKAWA MASAHIRO; INOUE HIDEAKI

- International: **G06F17/30; G06F13/00; G06F17/30; G06F13/00; (IPC1-7): G06F17/30; G06F13/00**

**Application number: JP20000186906 20000621**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To obtain a contents distribution system capable of automatically inserting contents into a home page and automatically updating them. **SOLUTION:** In the contents distribution system having a terminal device 1 having a browser by which home pages can be accessed by connecting to the Internet, a Web server 2 for distributing the HTML document of a home page access-requested by the browser 1a to the device 1 and a distribution server 7 for distributing a document file suited to the attribute of an accessing person requesting the access to the Web server 2, when the server 2 distributes the HTML document to the device 1, the document file is inserted dynamically into the HTML document and the HTML document with the document file inserted therein is distributed to the device 1 to be inserted to the home page and updated automatically.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-7463

(P2002-7463A)

(43) 公開日 平成14年1月11日 (2002.1.11)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テマコード* (参考)
G 0 6 F 17/30	3 4 0	G 0 6 F 17/30	3 4 0 A 5 B 0 7 5
	1 1 0		1 1 0 F
13/00	5 4 0	13/00	5 4 0 E
	5 5 0		5 5 0 L

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2000-186906 (P2000-186906)

(22) 出願日 平成12年6月21日 (2000.6.21)

(71) 出願人 500294615

山川 公正

東京都調布市緑ヶ丘2-17-1 エルパラ

ドール205号

(71) 出願人 500169542

平川 正広

東京都世田谷区上用賀4-33-15 馬事公

苑ヒルズ101

(74) 代理人 100100354

弁理士 江藤 聡明

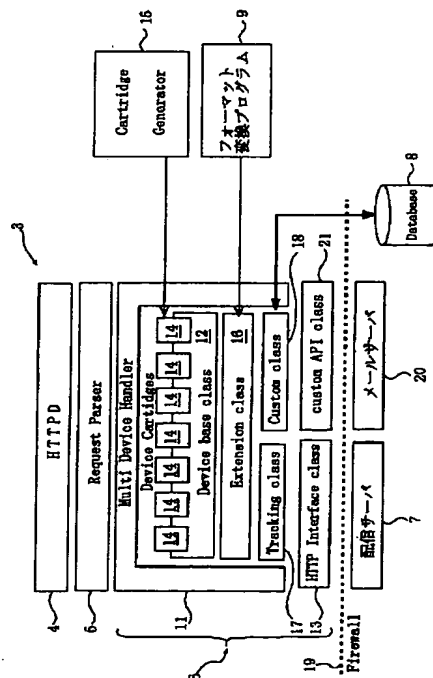
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 コンテンツ配信システム及び配信サーバのドキュメントファイル配信方法

(57) 【要約】

【課題】 ホームページ内にコンテンツを自動的に掲載し、自動的に更新させることができるコンテンツ配信システムを得ること。

【解決手段】 インターネットに接続してホームページを閲覧可能なブラウザを有する端末機1と、ブラウザ1aによって閲覧要求されたホームページのHTMLドキュメントを端末機1に配信するWebサーバ2と、閲覧要求した閲覧者の属性に適合したドキュメントファイルをWebサーバ2に配信する配信サーバ7とを有するコンテンツ配信システムにおいて、Webサーバ2がHTMLドキュメントを端末機1に配信する際に、HTMLドキュメント内にドキュメントファイルを動的に挿入させ、そのドキュメントファイルを挿入させたHTMLドキュメントを端末機1に配信し、ホームページを自動的に掲載し、更新する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネットに接続してホームページを閲覧可能なブラウザを有する端末機と、前記ブラウザによって閲覧要求されたホームページのHTMLドキュメントを前記端末機に配信するWebサーバと、

閲覧要求した閲覧者の属性に適合したドキュメントファイルを前記Webサーバに配信する配信サーバと、を有し、

前記Webサーバは、

前記HTMLドキュメントを前記端末機に配信する際に、前記HTMLドキュメント内に前記ドキュメントファイルを動的に取り込み、そのドキュメントファイルを取り込んだHTMLドキュメントを前記端末機に配信することを特徴とするコンテンツ配信システム。

【請求項2】 前記配信サーバは、

予め指定された分野の情報内容を有したドキュメントファイルを前記Webサーバに配信することを特徴とする請求項1に記載のコンテンツ配信システム。

【請求項3】 前記閲覧要求に含まれるリクエストヘッダ情報を前記配信サーバが判断処理可能なフォーマット形式に変換すると共に、前記配信サーバからの応答に含まれるレスポンスヘッダ情報を前記端末機のブラウザが判断処理可能なフォーマット形式に変換するルータを有することを特徴とする請求項1又は2に記載のコンテンツ配信システム。

【請求項4】 端末機からの閲覧要求に対してホームページを表示するためのHTMLドキュメントを端末機に配信するWebサーバから閲覧者の属性を入手し、

該属性に適合したドキュメントファイルを前記WebサーバがHTMLドキュメント内に動的に取り込んで前記端末機に配信するように前記Webサーバに配信することを特徴とする配信サーバのドキュメントファイル配信方法。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、コンテンツ配信システム及び配信サーバのドキュメントファイル配信方法に関し、特にインターネットのホームページに閲覧者の属性に応じたコンテンツを表示させることができるコンテンツ配信システム及び配信サーバのドキュメントファイル配信方法に関する。

【0002】

【従来技術】インターネット上でメディアサイトを運営するコンテンツプロバイダの多くは、ホームページのページビューに応じて得られる広告掲載料を収入源として運営を行っているため、より多くのページビューを獲得すべく、ホームページに豊富でかつ最新のコンテンツ（情報）を掲載してその内容を充実化させる努力を行っている。しかし、ホームページに掲載する情報を収集す

る作業は大変な労力を有し、このような労力の軽減は、コンテンツプロバイダにとって大きな課題であった。そこで、従来より、情報の収集作業を軽減する方法の一つとして、コンテンツベンダからコンテンツデータを購入することが行われている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、コンテンツベンダからコンテンツデータの提供を受けた場合でも、そのコンテンツデータをホームページに掲載する作業は自らの手作業によって行う必要があり、その労力は大変なものであった。また、自ら収集した情報をコンテンツとしてホームページに掲載し、更新する場合も同様であった。

【0004】本発明は、上述の点に鑑みてなされたものであり、その目的は、ホームページ内にコンテンツを自動的に掲載し、自動的に更新させることができるコンテンツ配信システムを提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決する請求項1に記載の発明によるコンテンツ配信システムは、インターネットに接続してホームページを閲覧可能なブラウザを有する端末機と、ブラウザによって閲覧要求されたホームページのHTMLドキュメントを端末機に配信するWebサーバと、閲覧要求した閲覧者の属性に適合したドキュメントファイルをWebサーバに配信する配信サーバとを有し、Webサーバが、HTMLドキュメントを端末機に配信する際に、HTMLドキュメント内にドキュメントファイルを動的に取り込み、そのドキュメントファイルを取り込んだHTMLドキュメントを端末機に配信することを特徴とする。

【0006】ここで、「ブラウザを有する端末機」には、端末機自体がブラウザを有しているものの他に、端末機自身はブラウザを有さずにインターネットに接続する際に端末機と接続されるゲートウェイがブラウザを有しているものも含まれる。また、「閲覧者の属性」とは、閲覧者の年齢、性別、住所、出身地、職業、年収、家族構成、趣味、嗜好など個人の情報に関するもの全てが含まれる。

【0007】請求項1の発明によれば、Webサーバは、配信サーバから閲覧者の属性に適合したドキュメントファイルの配信を受け、そのドキュメントファイルをHTMLドキュメント内に動的に取り込んで配信する。従って、ホームページに自動的にコンテンツを掲載し、自動的に更新させることができる。そして更に、コンテンツを閲覧者の属性に適合したものに動的に変更して掲載させることができる。

【0008】請求項2に記載の発明によるコンテンツ配信システムは、配信サーバが、予め指定された分野の情報内容を有したドキュメントファイルをWebサーバに配信することを特徴とする。請求項2の発明によれば、

例えばWebサーバ側で特定の分野に関する情報の配信を要求した場合には、その分野内でかつ閲覧者の属性に応じた情報のドキュメントファイルがWebサーバに配信される。従って、コンテンツプロバイダがホームページへの掲載を希望する情報分野内で閲覧者の属性に適合した情報をホームページ上に表示させることができる。

【0009】請求項3に記載の発明によるコンテンツ配信システムは、閲覧要求に含まれるリクエストヘッダ情報を配信サーバが判断処理可能なフォーマット形式に変換すると共に、配信サーバからの応答に含まれるレスポンスヘッダ情報を端末機のブラウザが判断処理可能なフォーマット形式に変換するルータを有することを特徴とする。

【0010】請求項3の発明は、リクエストヘッダ情報を配信サーバが判断処理可能なフォーマット形式に変換して配信サーバに渡し、また、配信サーバからのレスポンスヘッダ情報を端末機のブラウザが判断処理可能なフォーマット形式に変換してWebサーバに渡すルータを有することから、Webサーバと配信サーバとの間でドキュメントファイルの受け渡しを確実に行うことができる。従って、端末機の機種やバージョンの相違などに影響を受けることなくドキュメントファイルをホームページ上のコンテンツとして確実に表示させることができる。

【0011】請求項4に記載の発明による配信サーバのドキュメントファイル配信方法は、端末機からの閲覧要求に対してホームページのHTMLドキュメントを端末機に配信するWebサーバから閲覧者の属性を入手し、その属性に適合したドキュメントファイルをWebサーバがHTMLドキュメント内に動的に取り込んで端末機に配信するようにWebサーバに配信することを特徴とする。

【0012】請求項4の発明によれば、配信サーバによって閲覧者の属性に適合したドキュメントファイルがWebサーバに配信されるため、Webサーバによってドキュメントファイルが動的に取り込まれたHTMLドキュメントの配信を受ける端末機に、閲覧者の属性に応じたコンテンツを有するホームページを自動的に掲載し、その更新も自動的に行わせることができる。従って、コンテンツプロバイダは、情報収集やホームページの更新等の煩雑な作業を不要なものとすることができる。

【0013】

【発明の実施の形態】次に、本発明の実施の形態について図に基づいて説明する。図1は、コンテンツ配信システムの機能構成を示す概念図である。本システムは、ブラウザ（閲覧ソフト）1aを有する端末機1、メディアサイト2aを有するWebサーバ2、データ配信を行うセンタ3を主たる構成要素としており、それぞれインターネットに接続されている。

【0014】端末機1には、デスクトップパソコン、ノ

ートパソコン、携帯電話、PDA、テレビや冷蔵庫などのインターネット家電、カーナビ、ゲーム機等、インターネット接続機能を有し、Webサーバ2のメディアサイト2aにアクセスすることができるもの全てが含まれる。内部にブラウザ1aを備えるデスクトップパソコンやノートパソコン等の端末機1は、接続プロバイダ等を介してインターネットに接続され、内部にブラウザ1aを備えていない携帯電話等の端末機1は、ブラウザ1aを備えた接続センタ等（ゲートウェイ）を利用してインターネットに接続される。

【0015】Webサーバ2は、コンピュータハードウェア、オペレーティングシステム（OS）、ネットワークソフトウェアからなるプラットフォームと、Webサーバソフトウェア（HTTPデーモン）と、HTMLドキュメント（ホームページ）を備えており、後述するSSI（Server Side Include）という仕組みを使用可能な機能を有している。

【0016】HTMLドキュメントは、ブラウザ1aによっていわゆるホームページとして表示されるものを含み、Webサーバ2でメディアサイト2aを運営するコンテンツプロバイダによって作成され、ハードウェアのメモリ内に記憶されている。HTMLドキュメントは、テキストの整形や画像ファイルの表示位置及びリンク先の指定、スクリプトの宣言などを行う、いわゆるタグを用いて記述されている。

【0017】そして、上述のHTMLドキュメント内には、Webサーバ2が端末機1からHTTPリクエストを受けた場合に、そのHTTPリクエストをセンタ3に転送すると共に、センタ3からドキュメントファイルを受け取り、HTMLドキュメント内に動的に挿入し、Webサーバ2がHTMLドキュメントを端末機1に配信する際に、そのドキュメントファイルをHTMLドキュメント内に挿入して、HTMLドキュメントの一部として端末機1に配信するという処理を行うリクエストタグが記述されている。このリクエストタグは、SSI（Server Side Include）というWebサーバ2の機能を使用するものであり、これを用いることによって、HTMLドキュメントの一部を動的に更新することができる。

【0018】図2は、センタ3のアーキテクチャを示す概念図である。センタ3は、Webサーバと同様にプラットフォームを備え、また、図示のようにHTTPデーモン4、リクエストバーサ5、ルータ6、配信サーバ7、データベース8、フォーマット変換プログラム9を有する。

【0019】リクエストバーサ5は、端末機1からのリクエストの種類を判別するものであり、コンテンツ配信、広告配信、メール配信、クーポン券の発行等のリクエストが判別する。データベース8には、コンテンツプロバイダが自ら情報収集したコンテンツデータと、コンテンツベンダのデータベースから供給されたコンテンツ

10

20

30

40

50

データの両方がドキュメントファイルという形式で収容されている。

【0020】配信サーバ7は、Webサーバ2にアクセスしてきた閲覧者を、コンテンツプロバイダによって予め分類された属性のいずれに該当するかを絞り込む、いわゆるターゲティングを行い、その属性に適合したコンテンツデータのドキュメントファイルをデータベース8から選択し、Webサーバ2に配信するものである。

【0021】フォーマット変換プログラム9は、データベース8内のドキュメントファイルをWebサーバ2に配信する際に、端末機1のブラウザ1aによって表示可能なフォーマット形式に変換するものであり、例えば、表示能力の大きいパソコン用などの画像データを表示能力が小さい携帯電話で表示できるように変換処理する。

【0022】ルータ6は、配信サーバ7との間でHTTPリクエストとHTTPレスポンスの受け渡しを行うものであり、マルチデバイスハンドラ11、デバイスベースクラス12、HTTPインターフェースクラス13を有している。

【0023】マルチデバイスハンドラ11は、HTTPリクエストに含まれるヘッダ情報に基づいてHTTPリクエストを送信してきたリクエスト元の端末機1の種類を判別する。デバイスベースクラス12は、HTTPリクエストのヘッダ情報を配信サーバ7が判断処理できる形に変換操作する一方、HTTPレスポンスのヘッダ情報を端末機1のブラウザ1aが判断処理できる形に変換操作する。この変換操作は、端末機1の種類ごとに端末機1に依存する特有の仕様を収容したデバイスカートリッジ14の中から、リクエスト元の端末機1に対応したデバイスカートリッジ14を選択し、デバイスカートリッジ14内の仕様に基づいて行われる。

【0024】また、対応するデバイスカートリッジ14がデバイスベースクラス12内に設定されていない新規の端末機1からアクセスがあった場合には、カートリッジジェネレータ15によって対応するデバイスカートリッジ14が新規に生成され、その仕様に基づいてヘッダ情報の操作が行われる。カートリッジジェネレータ15は、新規端末機1が有するブラウザ1aの仕様に基づいて生成した仮HTTPリクエストを用いて、新規端末機1にアクセスし、端末機1からのレスポンスによりリクエストが成功したか否かを判断し、リクエストが成功するまで、仮HTTPリクエストのリクエストヘッダ情報の変更と端末機1へのアクセスを交互に行い、デバイスカートリッジ14を生成する。HTTPインターフェースクラス13は、HTTPリクエストを配信サーバ7に送信すると共に、配信サーバ7のHTTPレスポンスを受信する働きをする。

【0025】ルータ6は、更にエクステンションクラス16、トラッキングクラス17、カスタムクラス18を有している。エクステンションクラス16は、ルータ6

の機能を拡張するためのものであり、例えばフォーマット変換プログラム9によって変換処理されたドキュメントファイルをルータ6内に取り込む働きをする。また、トラッキングクラス17は、端末機1からのクリックイベントの処理やログ管理を行い、カスタムクラス18は、データベース8からコンテンツデータを受け取る働きをする。ルータ6と配信サーバ7及びデータベース8との間には、ファイヤーウォール19が設けられており、外部から守られている。尚、図中で符号20はメール配信を行うメールサーバであり、符号21は、メールサーバとの間で送受信を行うcustom API classである。

【0026】次に、上記構成を有するコンテンツ配信システムの利用方法について説明する。まず最初にコンテンツプロバイダによるホームページ用のHTMLドキュメントの作成及びターゲティング条件の設定が行われる。

【0027】図3は、ホームページの一部をタグにより示したイメージ図である。コンテンツプロバイダは、HTMLドキュメントの作成において、図示のように、コンテンツの表示位置を枠で指定すると共に、その枠内にコンテンツを表示させるためのリクエストタグを記述する。リクエストタグ内には、SSIを使用するコマンド、及びコンテンツ（ドキュメントファイル）の種類を示すリクエストIDとカテゴリが記入されている。尚、図4は、リクエストID及びカテゴリの一部を例示した一覧表である。

【0028】図3に示したホームページの場合、<table>タグによって5つの枠が設けられており、枠①には、<!--#include virtual="servlet?ReqID=ad"-->、枠②には、<!--#include virtual="servlet?ReqID=shop&CatID=gourmet"-->、枠③には、<!--#include virtual="servlet?ReqID=weather&CatID=tokyo"-->、枠④には、<!--#include virtual="servlet?ReqID=news&CatID=domestic"-->、枠⑤には、<!--#include virtual="servlet?ReqID=shop&Category=gourmet&Times=AM"-->、がそれぞれ記載されている。

【0029】これにより、リクエストIDがadである枠①には広告情報を有するドキュメントファイルが配信され、リクエストIDがshopでカテゴリがgourmetである枠②には飲食店情報を有するドキュメントファイルが配信されるように設定される。また、リクエストIDがweatherでカテゴリがtokyoである枠③には東京の天気情報を有するドキュメントファイルが配信され、リクエストIDがnewsでカテゴリがdomesticである枠④には、地方ニュースを有するドキュメントファイルが配信されるように設定される。そして、リクエストIDがshop、カテゴリがgourmetで、午前中という識別コードが付されている枠⑤には、ランチタイムの情報を有するドキュメントファイルが配信されるように設定される。

【0030】また、図示していないが、上述のHTML

ドキュメント内にはコンテンツプロバイダのセキュリティのために、第3者サイトへの不正配信を防止する以下のようなリクエストタグが記述される。

```
【0031】<!--include virtual="btGet?ReqID=Cont
&Param=Value.....>
```

上記のリクエストタグは、Webサーバ2がセンタ3との間でデータの送受信を行う際のライセンス・キーとなるものである。Webサーバ2は、端末機1からアクセスがあった場合に、上記リクエストタグを有するHTTPリクエストをセンタ3に送信する。

【0032】センタ3は、コンテンツ配信に関して正式に契約したWebサーバ2に対してリクエストタグ内の任意のパラメータに対するライセンス・キーを設定し、HTTPリクエストを送信してきたWebサーバ2が契約しているものであるか否かを判断する。従って、第3者サイトからのリクエストによる配信要求を却下し、不正配信を防止することができる。

【0033】ターゲティング条件の設定は、コンテンツプロバイダがセンタ3の配信サーバ7に対して所定の入力フォームに従って属性を入力することによって行われる。ここでは、例えばリクエストIDが<sports>でカテゴリが<baseball>と指定した枠内には、閲覧者の属性が東京のときはジャイアンツの情報、横浜のときはベイスターズの情報を表示させるという条件や、リクエストIDが<shop>でカテゴリが<gourmet>と指定した枠内には、閲覧者の属性が中高年のときは和食系のお店の情報、若者層の場合には洋食系のお店の情報を表示させるといった各種任意のターゲティング条件がコンテンツプロバイダによって設定される。

【0034】次に、コンテンツ配信の流れについて説明する。まず、閲覧者が端末機1のブラウザ1aにメディアサイト2aのURLを入力すると、閲覧者の属性を記録したクッキー情報やリクエストヘッダ情報を含むHTTPリクエストがWebサーバ2に送信される。そして、HTTPリクエストを受信したWebサーバ2は、HTMLドキュメント内のリクエストタグ内の処理により、そのHTTPリクエストをセンタ3に転送する。

【0035】HTTPリクエストを受信したセンタ3は、HTTPリクエストを送信してきたWebサーバ2が正規のものであるか否かをライセンス・キーによって判断し、正規のWebサーバ2である場合にはコンテンツ配信処理を実行する。

【0036】コンテンツ配信処理では、まず最初にルータ6によりHTTPリクエストのヘッダ情報が操作される。この操作により、HTTPリクエストは、端末機1の機種やバージョン等の相違に影響を受けることなく、配信サーバ7が判断処理可能な形で渡される。そして、その際に外部データベース（図示せず）が検索され、閲覧者の属性が更に詳細に把握され、HTTPリクエスト内に挿入される。

【0037】HTTPリクエストを受け取った配信サーバ7は、1. リクエストタグ内のリクエストID及びカテゴリ、2. クッキー情報や外部データベース検索等に基づく閲覧者の属性、3. コンテンツプロバイダによって設定されたターゲティング条件の3つの要素に基づいて、データベース8内から対応したコンテンツデータのドキュメントファイルを選択する。

【0038】従って、例えば1. リクエストIDがスポーツニュースでカテゴリが野球と設定され、2. 閲覧者の属性が東京であり、3. ターゲティング条件により属性が東京の場合には巨人の情報を表示させると設定がされている場合には、巨人のコンテンツデータを有したドキュメントファイルが選択される。

【0039】配信サーバ7によって選択されたドキュメントファイルは、HTTPレスポンス内に挿入されてHTTPインターフェースクラス13からルータ6内に送信される。ルータ6では、HTTPレスポンスのヘッダ情報が端末機1のブラウザ1aによって判断処理可能な形に変換される。そして、ドキュメントファイルはHTTPレスポンス内に含まれた状態でセンタ3からWebサーバ2に送信される。

【0040】Webサーバ2では、センタ3から配信されてきたドキュメントファイルをSSIの機能によってHTMLドキュメント内に挿入し、そのHTMLドキュメントを端末機1に送信する。これにより、端末機1では、センタ3から供給されたコンテンツを含んだ形のホームページが表示される。従って、ホームページ内のコンテンツを閲覧者の属性に応じて動的に変更することができる。

【0041】本システムによれば、コンテンツプロバイダは、ホームページの作成において、HTMLドキュメント内にリクエストIDとカテゴリを有したリクエストタグを記述し、配信サーバ7にターゲティングの条件を入力するのみで、ホームページ上に所定のカテゴリを有しかつ閲覧者の属性に適合したコンテンツを動的に表示させることができるため、ホームページの作成作業及びコンテンツの更新作業を容易ならしめることができる。

【0042】また、コンテンツプロバイダは、自分が提供するコンテンツを更新する場合に、従来はHTMLドキュメント全体の書き換え作業を行う必要があったが、本システムによれば、更新を希望するコンテンツのドキュメントファイルのみを作成してデータベース8に格納するのみでよく、同様にコンテンツベンダから提供を受けたコンテンツを掲載・更新する場合もそのコンテンツデータのドキュメントファイルのみを作成し、データベース8に格納するのみでよいことから、コンテンツの更新作業に要する労力が大幅に軽減される。

【0043】尚、図5(a)は、コンテンツプロバイダ自身が情報収集してデータベース8内に格納したドキュメントファイルを示すものであり、図5(b)は、配信

サーバ7が図(a)のドキュメントファイルを選択した場合にホームページ上の枠内に表示されるコンテンツを示すイメージ図である。

【0044】また、コンテンツプロバイダは、HTMLドキュメント内にドキュメントファイルの動的な挿入を要求するリクエストタグを複数設けるのみで、ホームページに複数のコンテンツを表示させることができるため、容易にコンテンツを豊富化させることができる。

【0045】更に、センタ3のルータ6によって、HTTPリクエストのヘッダ情報が配信サーバ7が判断処理できる形に変換されると共に、配信サーバ7からのHTTPレスポンスのヘッダ情報が端末機1のブラウザ1aが判断処理できる形に変換されるため、配信サーバ7は、端末機1の機種やバージョン等の相違に影響を受けることなく、HTTPリクエストの内容を判断処理することができ、端末機1のブラウザ1aは、Webサーバ2から受け取ったHTTPレスポンスの内容を判断処理することができる。従って、コンテンツを含むホームページを端末機1に確実に表示させることができる。

【0046】また、本システムによれば、コンテンツベンダからのコンテンツデータの提供は、センタ3が全て一括して受けるため、コンテンツプロバイダは、コンテンツベンダに対する交渉や契約等の煩雑な手続を排除することができる。また、従来はコンテンツベンダから提供を受けるコンテンツは、コンテンツプロバイダ側で取捨選択することはできず、全く必要としないコンテンツの対価も支払わなければならなかったが、本システムによれば、センタ3の配信サーバ7が閲覧者の属性に応じて必要なコンテンツデータだけを配信するので、コンテンツプロバイダは使用した情報に対する対価を支払えばよく、コンテンツデータの利用金額を低額とすることができ、メディアサイトの運営を容易なものとする事ができる。

【0047】また、本システムによれば、閲覧者は、自己の属性に応じた種々の情報を同時に得ることができるため、他のサイトを閲覧する必要がない。これはコンテンツプロバイダからすれば、閲覧者の他のサイトへの流出を防ぎ、自分のメディアサイト内に囲い込みできるこ

ととなり、閲覧者の利用率向上によりページビューを増大させ、高い広告収入を得ることができるという利点となる。

【0048】尚、本発明は上述の実施の形態に限定されるものではなく、本発明の趣旨を逸脱しない範囲で種々の変更が可能である。例えば、上述の実施の形態では、コンテンツ配信を例に説明したが、メール配信やクーポン券の発行に用いてもよい。

【0049】

10 【発明の効果】以上説明したように、本発明に係るコンテンツ配信システムによれば、Webサーバは、配信サーバから閲覧者の属性に適合したドキュメントファイルの配信を受け、そのドキュメントファイルをHTMLドキュメント内に動的に取り込んで配信するため、ホームページ内に自動的にコンテンツを表示させ、自動的に更新することができ、ホームページの運営を容易なものとする事ができる。

【図面の簡単な説明】

20 【図1】コンテンツ配信システムの機能構成を示す概念図である。

【図2】センタのアーキテクチャを示す概念図である。

【図3】ホームページの一部をタグにより示したイメージ図である。

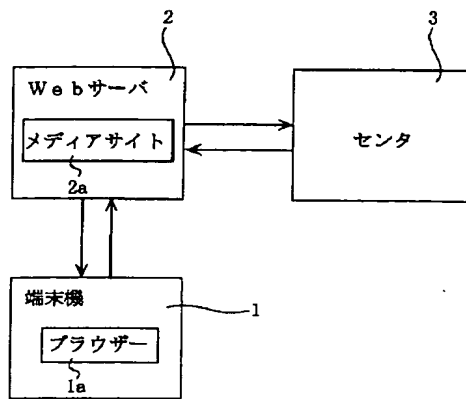
【図4】リクエストIDの代表的なものを示した一覧表である。

【図5】ホームページ内に表示されるコンテンツ及びそのコンテンツを表示させるためのドキュメントファイルを示す図である。

【符号の説明】

- 30 1 端末機  
1a ブラウザ  
2 Webサーバ  
2a メディアサイト  
3 センタ  
6 ルータ  
7 配信サーバ  
8 データベース

【図1】



【図4】

リクエストID	カテゴリ	内容
ad	money	金融関係の広告
shop	gourmet	飲食店情報
weather	tokyo fukuoka	東京の天気 福岡の天気
news	domestic IT	地方ニュース ITニュース
sports	baseball soccer golf	野球ニュース サッカーニュース ゴルフニュース

【図5】

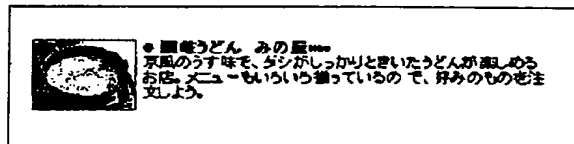
(a)

```

<tr>
<td valign=top>
<img src=img/udon.gif border=1 alt=さぬきうどんみの屋><br>
</td><td valign=top>
<font color=#0E8EC4 size=2>●</font>
<font class=f12><b><a href="">讃岐うどん みの屋</
b></font></a>
<img src=img/new.gif border=0><br>
<font class=f12>京風のうす味で、ダシがしっかり...</font>
</td>
</tr>

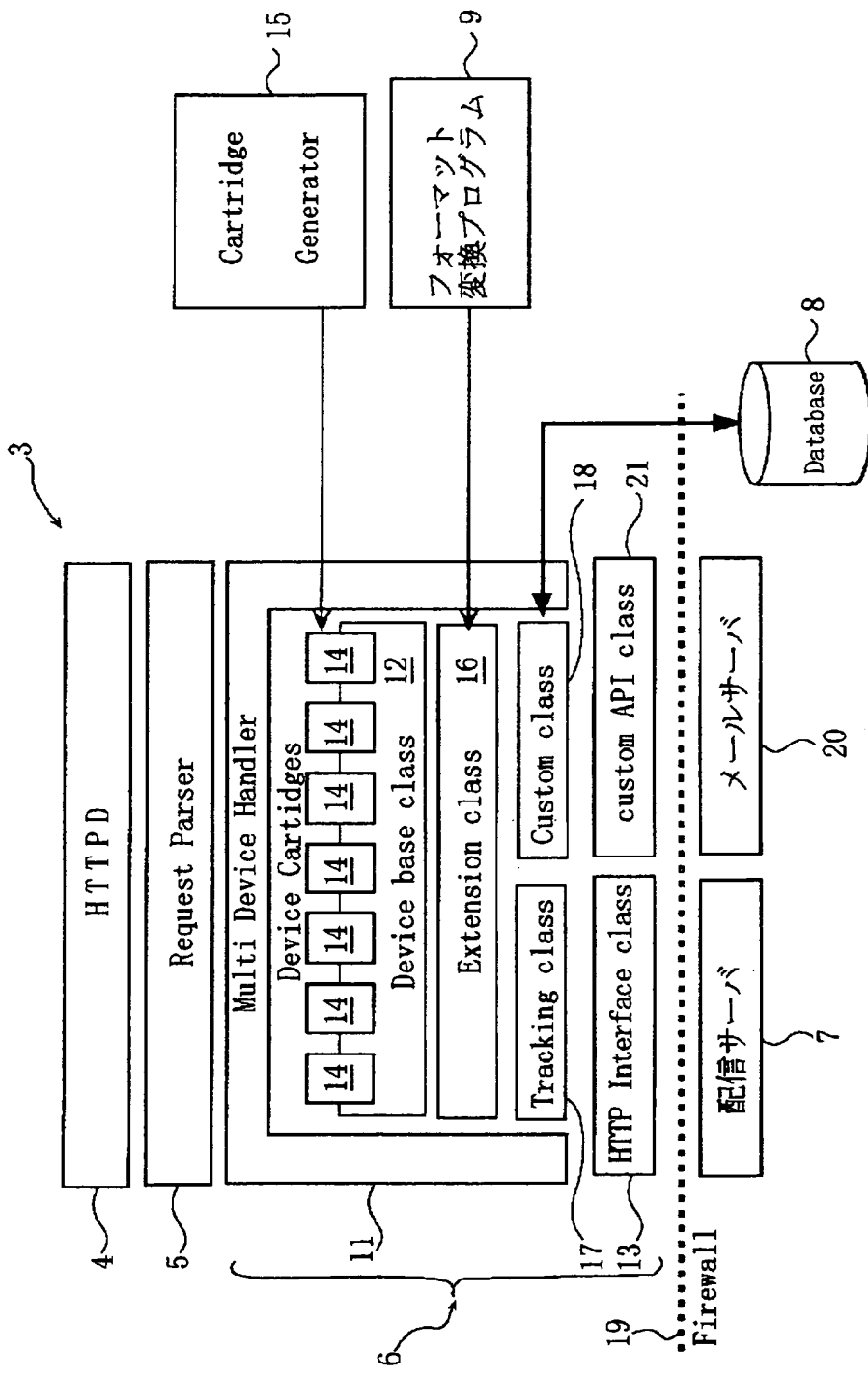
```

(b)

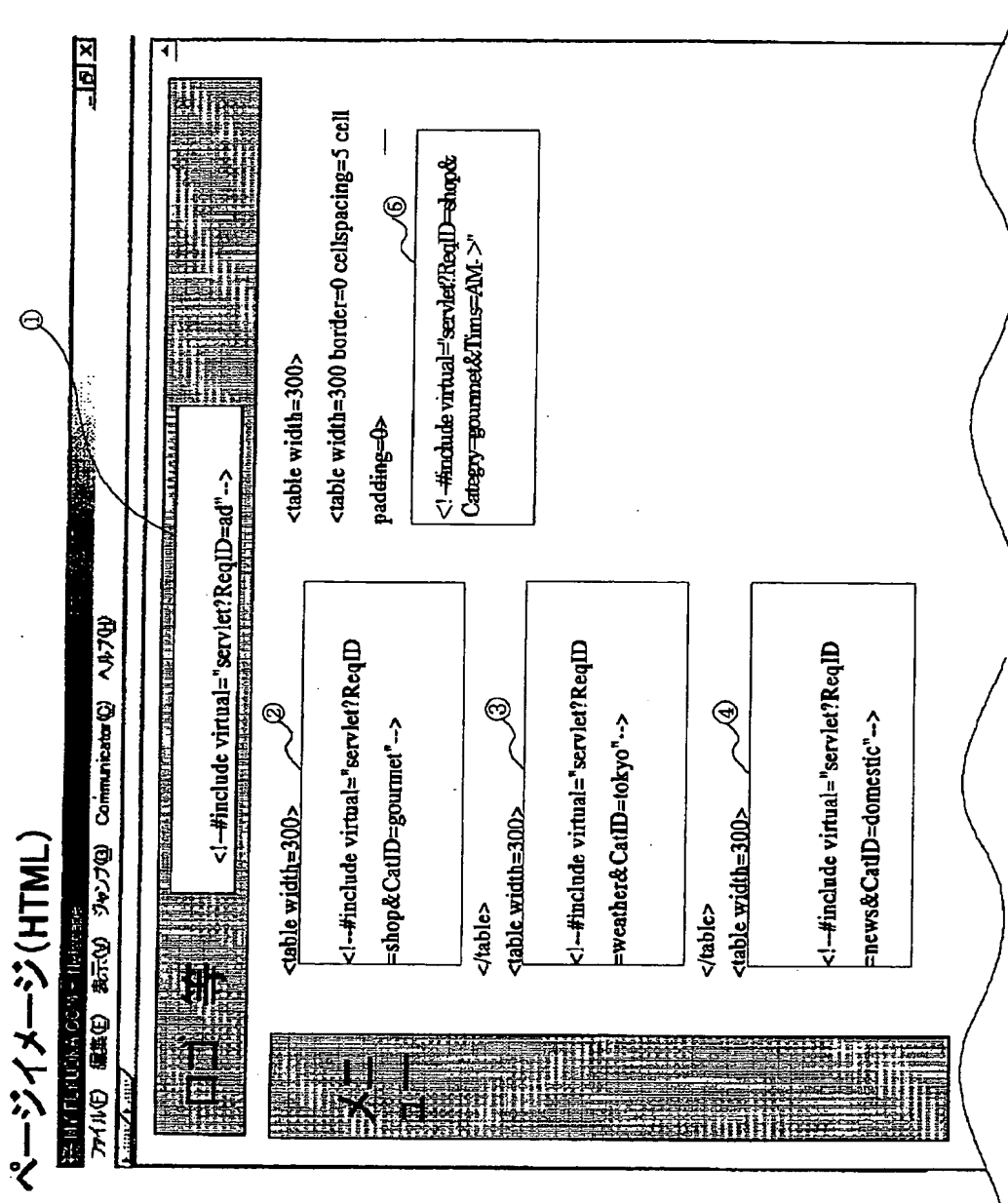




【図2】



【図3】



フロントページの続き

(71)出願人 500150609  
井上 英昭  
神奈川県横浜市緑区霧が丘4-1 霧が丘  
グリーンタウン5棟403

(72)発明者 山川 公正  
東京都調布市緑ヶ丘2-17-1 エルバラ  
ドール205号

(72)発明者 平川 正広  
東京都世田谷区上用賀4-33-15 馬事公  
苑ヒルズ101

(72)発明者 井上 英昭  
神奈川県横浜市緑区霧が丘4-1-5-  
403  
Fターム(参考) 5B075 ND36 PQ02 PQ05